



令和7年度の学校教育目標等についてお知らせします。教職員一同、目標の実現に向けて全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

1 学校教育目標

心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもつ児童の育成 ～ウェルビーイングの向上をめざして～

2 学校経営方針

- (1) 人権尊重の精神を基盤として、自他の人格を尊び、生き生きと活動できる児童の育成に努める。
- (2) 基本的な生活習慣や倫理観を確立し、基礎的な学力の定着及び体力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、自ら学ぶ意欲・習慣を育てる。
- (3) 道徳、人権、特別支援教育の充実に努めるとともに、日々の教育活動を通して、思いやりのある心豊かな児童を育む。
- (4) 体験学習や総合的な学習を充実させるとともに、自然体験・社会体験・勤労体験などの多様な体験活動の展開を図り、生きる力を培う教育を推進する。
- (5) 安全で美しい環境の中で、健全な児童の育成をめざして、家庭・地域社会との連携を図り、地域に愛される開かれた学校づくりを進める。

3 重点目標

- (1) 多様化する子どもたちに対応する未来志向の教育の推進
 - ア 校内研究を意識した授業改善
 - ・ 授業のユニバーサルデザイン化を進めるとともに、「書きたい」「話したい」を実現する場づくりの工夫に努め、意欲的な学習態度の育成を図る。
 - ・ 各教科において、基礎・基本の定着を図るなど、確かな学力の向上に努める。
 - ・ 集団での指導を基盤にしつつも、1人1台端末の活用も含め、子どもたちの持つ個性や能力、興味関心に応じて多様で柔軟な学び方を支援する「カラフルな教育」を提供する。
 - イ 豊かな人間性を育てる心の教育
 - ・ 学級・学年・異年齢集団等の活動を通して、創造力やコミュニケーション力等を育むとともに、互いに認め、励まし、高め合う心を培う。
 - ・ 体験学習等の経験を通して、どんな状況にも臨機応変に対応し、困難に立ち向かう力、「レジリエンス」を養う。
 - ・ 様々な情報を鵜呑みにせず、自分で判断し見極めて、自己決定する力を養う。
 - ウ 教育活動全体を通じた、道徳、人権、特別支援教育の充実
- (2) 「縦の連携」の推進
 - ア 「伊丹市架け橋期のカリキュラム」を推進し、幼児期の教育と小学校教育を接続する。
 - イ 小中連携から、9年間を見通したカリキュラムでつながる小中一貫教育に取り組む。
 - ウ 中学校の学校運営協議会と連携し、地域の特色を生かし、地域に誇れる学校づくりに取り組む。
- (3) 「横の連携」の推進
 - ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進をさらに進める。
 - イ 積極的に情報を発信し、学校・家庭・地域総がかりの教育を推進する。
- (4) 健やかな体の育成と健全な食生活の推進
 - ア 教育活動全体を通して、体育・健康に関する指導の充実に努め、健康で活力ある生活を営むために必要な資質や能力を育て、心身の調和的な発達を促す。
 - イ 学校保健・健康教育・食育の充実に努め、健康への正しい知識と望ましい生活習慣を身に付ける。
- (5) 生徒指導、学級・学年経営の充実
 - ア 共感的な児童理解に基づく組織的な生活指導を充実させ、毎日楽しく登校できるようにする。
 - イ 児童に関する情報交換を密にし、職員の協働体制を強化する。
 - ウ けじめある生活態度を養うため、家庭と連携し、基本的な生活習慣や倫理観の確立に努める。
- (6) 教育環境の整備等による教職員の働きがい改革と学校安全の充実
 - ア 教員同士が互いにつながり、共に教育課題に対応して学び続けるラーニング・コミュニティをデジタルの活用等により創造する。
 - イ 教職員の働き方改革を推進し、子どもと向き合う時間を充実させ、働きがい改革へとつなげる。
 - ウ 校内外の安全点検・安全教育をさらに進め、地域との連携を図りながら、児童の安全確保に努める。